

高女通信 ∞ 第9号 ∞

編集発行 群馬県立高崎女子高等学校 発行日 平成31年1月30日(水)



■大学入試センター試験

1月19日(土)、20日(日)にセンター試験が行われました。本校生徒の受験会場は例年通り県立女子大学で、比較的穏やかな天候のもと、315名が参加しました。

生徒たちは、多くの先生方が見守る中、やや緊張した面持ちではあるものの、平素の努力の結果が出ることを信じ、しっかりした足取りで入構していきました。

■群馬県高等学校新人駅伝競走大会 3位

1月12日(土)に正田醤油スタジアム群馬を発着とする周回コースで、群馬県高等学校新人駅伝競走大会が開催されました。1区から好走、全員が練習の成果を発揮し、見事に襷をつなぎ入賞することができました。

総合3位 56分36秒

- 1区：市村 和奏(1年)・2区：安藤深愛(2年)
- ・3区：三ツ澤歩美(1年)・4区：本保朱理(2年)
- ・5区：小野夏凜(2年)



■バスケットボール部 新人大会 準優勝!

1月12日(土)~20日(日)で、県高校バスケットボール新人大会が行われました。結果は準優勝で、関東大会へ出場することになりました。目標としていた優勝には届かず悔しい思いもありますが、様々なトラブルを乗り越え、接戦でも勝利を収められたのはチームとして成長できた点だと思います。今後も全国目指してがんばるぞ!

■剣道部 新人戦 ベスト4

1月19日(土)に新人戦が行われました。1回戦はシード、2回戦は富岡高校に4-0で勝利、続く3回戦は沼田女子高校に1-1の代表戦の末勝利。準決勝で共愛に2-0で負けてしまいましたが、今のチームになってから初のベスト4まで勝ち上がることができました。次の大会では優勝を目指し、冬の稽古に励みたいと思います。





■群馬県高等学校女子サッカー新人大会 ベスト8
1月12(土)～27日(日)に実施された新人大会に、サッカー部1・2年生が参加しました。1回戦はシード、2回戦は桐女戦でした。相手のプレスもありましたが、1-0で勝利することができました。ベスト4を掛けた健大高崎戦では力及ばず敗退してしまいましたが、最後まで戦う姿勢を貫きました。ベスト8という結果に終わり、次の2年生の最後の大会となる総体に向けて一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

■作文コンクール 高女から多数入賞！

1月24日(木)、土屋文明記念館にて平成30年度第55回作文コンクール、授賞式が行われました。夏休みの課題で提出されたものから、校内選考を経て選ばれた作品が県で審査されました。

県内で入賞した全20作品受賞のうち、高女からは7作品入賞し、県内最多の受賞となりました！入賞者は以下の通り。

- 【課題】「川」森本都美(2年)
- 「川」岸理恵(3年)
- 「ルール」佐々木美緒(3年)
- 【自由】「私と父」萩原志保(2年)
- 「ゴールキーパー」春木柚美(2年)
- 「子供が見る子供」田子綾菜(2年)
- 「プロイラー、夢を見る」田嶋小春(2年)



■バレーボール部 新人大会優勝！2連覇！

1月19・20・26日にバレーボール新人大会が行われました。準決勝では商大相手にフルセットで制し決勝の西邑楽戦も競り勝ちました。

…決勝は光岡の位置取りの読みがさえ、相手の攻撃を正面からレシーブ。狩野が余裕を持ってトスし、丸山主将はミドル、サイドを問わず強烈なスパイクを放った。(中略)「サーブレシーブの対応、ミスからの切り替えを早くできたら」と丸山主将は次のテーマを挙げた。(上毛新聞より一部抜粋)

また次回の戦いに向けて、日々の練習に取り組みます！



■みらい賞 たかさき紅の会

1月27日(日)群馬会館にて「ぐんま 街・人・建築大賞顕彰式」が行われました。「ぐんま 街・人・建築大賞」は、群馬がこれからも豊かで、創造性あふれる永続的な発展を続けるために、群馬に関わりのある優れた街作りや建築活動、またそこで貢献されている人に焦点を当て、その取り組みを顕彰する取り組みです。

本校元同窓会長 吉村さんが所属する「たかさき紅の会」もその活動が認められ、顕彰されました。



吉村さん